

福祉科「介護総合演習」	単位数	1単位
	学科・学年	介護福祉科（1年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。
使用教科書 副教材	最新・介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p><b>関心・意欲・態度</b> 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b> 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。</p> <p><b>技能</b> 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。</p> <p><b>知識・理解</b> 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p>
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	必要事項をノートに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、身だしなみに気を配り、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。
---------------	--

(4) 学習計画

「1学期」 「2学期」

項目	学習のねらい
校内オリエンテーション	介護実習の意義と目的、3年間の介護実習の流れ・実習心得を理解する。
介護実習事前学習	デイサービスセンターの役割、サービスの内容、利用者の概要を理解する。 記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 観察の技法・コミュニケーション技法を身に付ける。
介護実習事後学習	8月の実習について、レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化などを行い、次の実習に活用する。
介護実習事前学習	9月の実習に向けて、記録の書き方・観察の技法・コミュニケー

介護実習事後学習	<p>ション技法・衣服の着脱・食事・清潔の介護の実習を行い、デイサービスセンター実習の準備をする。</p>
実習報告会	<p>レポート作成・記録の整理・反省を行い、各自の課題を明確にする。また、評価を通してデイサービスセンターの実習のまとめを行い、次回の実習に活用する。</p>
実習報告会	<p>実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、デイサービスセンターの現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。</p>

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護実習事前学習	<p>グループホームの役割を理解する 記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法・衣服の着脱・食事・清潔・排泄の介護の実習を行い、グループホーム実習の準備をする。</p>
介護実習事後学習	<p>レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通してのグループホーム実習のまとめを行い、現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質について考える。</p>

福祉科「介護総合演習」	単位数	1単位
	学科・学年	教養福祉科（2年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。
使用教科書 副教材	介護総合演習・介護実習（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p><b>関心・意欲・態度</b> 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b> 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。</p> <p><b>技能</b> 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。</p> <p><b>知識・理解</b> 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p>
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	必要事項をプリントに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。
-------------------	--

(4) 学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
校内 オリエンテーション	・ 2学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。
介護実習事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護老人福祉施設・介護老人保健施設について理解する。</li> <li>・ 記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。</li> <li>・ 観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。</li> </ul>

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護実習事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。</li> </ul>
実習報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。</li> </ul>
介護実習事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅サービスの役割と意義を理解する。</li> <li>・記録の書き方・観察の技法・基本的な介護技術の確認を行い、訪問介護同行訪問実習の準備をする。</li> </ul>

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護実習事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して在宅福祉のまとめを行う。</li> </ul>
介護実習事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者施設の役割と介護者の視点を理解する。</li> <li>・記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法を確認し、障害者施設実習の準備をする。</li> </ul>
介護実習事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通しての障害者施設実習のまとめを行い、現状と課題について考える。</li> </ul>

福祉科「介護総合演習」	単位数	1単位
	学科・学年	教養福祉科（3年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。
使用教科書 副教材	「介護総合演習・介護実習」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<b>関心・意欲・態度</b> 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。 <b>思考・判断・表現</b> 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。 <b>技能</b> 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。 <b>知識・理解</b> 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価します。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	必要事項をノートに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。
-------------------	---

(4) 学習計画

「1学期」

項目	学習のねらい
校内オリエンテーション 介護実習事前学習	3学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。 記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。

「2学期」

項目	学習のねらい
介護実習事後学習 実習報告会	レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。 実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。

「3学期」

項目	学習のねらい
事例研究	事例研究の意義について理解し、テーマを設定する。 事例研究を意識した実習の進め方を理解し、考察を行う。 事例研究についてまとめ、発表する。

